

1. 目指す学校

《教育目標》

人権尊重の精神を基盤とし、21 世紀を心豊かにたくましく生きることのできる心身ともに健康で知性と感性に富んだ児童の育成を図る。

- | | |
|----------|--------|
| ◇ 心の豊かな子 | ◇ 考える子 |
| ◇ ねばり強い子 | ◇ 元気な子 |
| ◇ はたらく子 | |

「人権尊重の精神を基盤とし」を具体的な児童及び教職員の目標行動として『気持ちを込めたあいさつを行う』とする。

あいさつは、自己と他者との存在を尊いものと認め、その気持ち（人権尊重の精神）を行動で表すことのできる最も大切な基本となる行為であると考えている。

教育目標に掲げられている 5 つの子供像を、成長する子供の姿として示していくことのできる学校を目指す。

そのために、教職員の取組姿勢は、チーム一丸となり、教育目標の達成に向け「協力」「協調」「協働」の基本姿勢で行動する。

目指す学校

- 人権尊重の教育を基に、思いやりの心や社会生活のルールを身に付けさせる学校
- 基礎的・基本的な学習内容を身に付けさせ、確かな学力を育成する学校
- 基本的な生活習慣を身に付けさせ、健康な心と体を育成する学校
- 保護者・地域と育てたい子供像を共有し、信頼される学校
- 学校課題を自覚し、職層や役割に応じ、教職員一人一人が能力を発揮できる学校

学校の中が、いつも気持ちのこもったあいさつにあふれ、確かな学びと豊かな心をはぐくみ、他人に対して優しく、自分に対して強く、健康な子供を育成することができる学校づくりを行う。

2. 中期的目標と方策

【「目指す学校」を具体的に実現するための3～5年後の到達目標】

教育活動	目 標	方 策
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ■「児童自らが学び、共に高めあう授業」を目指し、授業改善に取り組む。 ■地域の教育力を生かした教育活動を推進する。 ■市民性を高める教育活動を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「授業改善推進プラン」に基づき、基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付けさせ、学ぶ意欲を高め、思考・判断・表現力等を育成する。 ・体験的学習や問題解決的学習を充実させた授業を展開する。 ・地域の教育資源を活用する。地域の方々・施設、大学、企業等との連携を強化する。 ・武蔵野市特有の教育資源を活用した教育活動を計画・実施する。
生活指導 進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ■生活指導の評価・改善・充実を図る。 ■自己と他人を尊ぶ人権尊重の精神を養う。 ■基本的な生活習慣を身に付け、健康増進や体力向上への取組を充実する。 ■特別支援教育・教育相談の充実を図る。 ■キャリア教育を通して、自らが進路選択をすることのできる力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「本宿小生活指導改善推進プラン」(仮称)を策定し、展開する。 ・学校生活のすべての活動を通じ、「気持ちをこめたあいさつ」を励行し、定着させる。 ・「礼儀正しい子」を育成する。 ・基本的な生活習慣を身に付けるため、家庭との連携を強化する。健康・体力づくりの基礎習慣を定着させる。 ・「はとの子、体力向上プラン」(仮称)を策定し、展開する。 ・教育相談員・専門家スタッフ及び教育支援センター等の学校支援機能を活用し、個々のニーズに応じた支援を組織的に実施する。 ・自ら肯定感の高い将来像を描く力をはぐくむことをねらいとしてキャリア教育を計画・実施する。
学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ■保護者・地域と共生し、信頼される学校をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事や情報発信ツールを通じて、学校の教育情報を発信し、育てたい子供像を共有する。 ・「開かれた学校づくり協議会」で、

	<ul style="list-style-type: none"> ■安全・安心な学校づくりへの取組を強化する。 ■教職員は、職層や役割に応じた職務を遂行し、対応力や問題解決能力の高い組織をつくる。 ■若手教諭を中心とした育成を組織的に実施する等、人材育成機能の向上を図る。 	<p>協議を通じて地域との共生スタイルを構築する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危機管理体制(自然災害・事故・人為的災害等)のさらなる整備を図る。 ・安全指導の充実を図る。 ・教職員間での報告・連絡・相談を日常化する。分掌業務はPDCAサイクルで展開する。 ・主任教諭を若手教諭の育成担当者として明確に位置づけたOJTによる人材育成を計画的に実施する。
<p>特別活動 その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■児童に自主、自立を促し、達成感を味わせるとともに、豊かな人間関係を構築する力を育成する。 ■地域行事への参加や地域との交流活動等を通じて、地域と共に育ち、地域への愛着と帰属意識を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事や特別活動等を通じ、自他を尊ぶ態度を育成し、良好な人間関係を構築する。 ・生活科等の学習内容に応じ、地域の教育資源を活用した授業を展開する。授業のねらいを地域に対し、明確に説明し、地域との連携を強化する。
<p>能力開発</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■組織的に校内研究に取り組み、自己研鑽に励み、教員間相互で啓発、高めあう集団をつくる。 ■改訂学習指導要領を受けた適切な学習内容を完全実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研究テーマに迫るため、校内研究を通じて、授業改善に取り組み、授業力の向上を図る。 ・授業力向上をねらいとした研究授業を実施する。保護者・地域への公開を実施する。 ・改訂学習指導要領に基づき作成した学習指導計画、評価基準に沿った学習を円滑に実施する。

3. 今年度の重点目標と方策

【1年間の教育活動全般で重点指針かつ組織目標となる具体的な目標】

教育活動	目 標	方 策
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「共に考え表現する児童の育成」(研究テーマ)を目指し、授業改善に取り組む。 ■ 地域の教育力を生かした学習活動を実施する。 ■ 市民性を高める学習活動を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度市研究奨励校研究成果等を生かし「授業改善推進プラン」を評価・改善・実施する。 ・週案に「授業改善推進プラン」の具体的な改善視点を明確に記載し、日常の取組を強化する。 ・地域の教育資源を生かした学習内容を学習指導計画に位置づける。学習指導計画の部分改訂を実施する。 ・地域の方々と学習のねらいを共有するため、簡潔な指導案を作成提示し展開する。 ・平成22年度市研究奨励校研究成果等を生かし、武蔵野市特有の教育資源を活用した学習を展開する。さらに、学習活動の充実を図るため評価・改善を図る。
生活指導 進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ■ 生活指導の評価・改善を実施する。 ■ 自己と他人を尊ぶ人権尊重の精神の礎を身に付けさせる。 ■ 健康・体力づくりの基礎となる習慣を定着させる。 ■ 特別支援教育・教育相談を組織的に対応する。 ■ キャリア教育を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活指導における現状分析と課題設定を行い「平成23年度本宿小生活指導改善推進プラン」(仮称)を策定し、取り組む。 ・「気持ちをこめたあいさつ」をすべての児童が進んで行える環境づくりのため、年間目標に位置づけ、取り組む。 ・家庭との連携ツール「はとの子カード」(仮称)を作成し、基礎となる生活習慣を定着させる。 ・教育支援センター、子ども家庭支援センター等の外部機関や教育相談員、専門家スタッフとの連携を校内委員会が中心となり、組織的支援を行う。 ・キャリア教育を年間計画に位置づ

		け、展開する。
学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ■ 学校・保護者・地域との共生を目指し、教育情報を適切に発信する。 ■ 緊急時の対応体制の強化を図る。 ■ 主幹教諭及び主任教諭を中心とした組織対応を通じて、問題解決能力を高める。 ■ 若手教諭の育成を主とした組織的人材育成を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会、学校公開等の行事及びホームページや各種便り等を通じて学校の教育情報を発信する。 ・「開かれた学校づくり協議会」での協議を通じて、地域の活性化への支援を目指す。 ・保護者への緊急時対応マニュアルを適宜、改訂し周知・展開する。 ・避難訓練や安全指導の充実を図る。 ・主幹教諭及び主任教諭は、分掌業務の適切な進行管理を行う。教職員間の報告・連絡・相談を緊密に行う。 ・教職員による業務改善提案を実施する。 ・主任教諭を若手教諭の育成担当者に位置づけ OJT による人材育成（メンタルヘルスを含む）を校内研究及び人事考課制度の場を活用し実施する。
特別活動 その他	<ul style="list-style-type: none"> ■ 児童の自主的・自発的な活動を通じ、達成感を味わわせながら本宿小への所属意識を高める。 ■ 地域との交流活動を通して、地域と共に育ち、地域への愛着を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事やクラブ活動、委員会活動、たてわり班活動の中で能動的によりよい学校生活を目指す問題解決型の活動を実施する。 ・まちたんけんや学区域の学習の際、地域の方々と連携したり、支援を受けたりし活動を展開する。
能力開発	<ul style="list-style-type: none"> ■ 校内研究を充実させ、自己研鑽に励み、教員間で相互に高めあう体制を築く。 ■ 改訂学習指導要領の学習内容を円滑に完全実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「共に考え表現する児童の育成」に迫るため、全教員が研究授業を実施・公開(保護者・地域)する。 ・学習指導計画及び評価規準に基づき学習活動を展開・評価する。